

明塾新聞 二月号

きんぐらだより



講師挨拶 内田健先生



年が明けて、いよいよ入試が近づいて来ました。入試に限りませんが、試験で一番避けたいのはうっかりミスかと思えます。そこで、各教科毎に注意点をまとめてみました。

数学(算数)：単位の違い。面積や体積、速さの問題のときには、特に気を付けましょう。分数の約分や、√の中身を簡単にすることも忘れずに。

英語：スペルのミス。疑問文の最後には「？」を書きましよう。また、英語は慣用表現を除くと、文中に必ず動詞が必要です。英作文の時には気を付けましよう。

国語：漢字の違い。文中から抜き出さない、とあるときは問題文をそのまま書きましよう。難しい漢字が使われていても、勝手に平仮名にしてはいけません。

理科：用語は漢字で書きましよう。また、数学と同じで単位にも注意です。

社会：理科と同じく、用語は漢字で書きましよう。平仮名で書いていると、入試では点数を貰えません。

これ以外にも、記述問題で字数制限がある場合は、八割以上は埋めるようにしましょう。二十字以内で書け、という問題なら、十六字以上は書き込みたいところです。

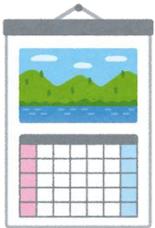
小テストでも、入試でも注意しなくてはならない点は共通です。最後まで気を抜かず、集中して取り組んで行きましよう。

教えてサクラちゃん ① 2月はどうして短いの？

2月が28日しかないのは、古代ローマ暦に由来し、年末の調整月として1年の終わりの(当時は3月が新年の始まり)だった2月(Februarius)から不吉な偶数日を削るため、さらにユリウス暦・グレゴリオ暦への改定で日付が固定され、7月・8月の皇帝の都合で日数が変わった結果、2月だけが28日のまま(うるう年で29日)になったためです。

元々は「清めの月」で不吉な偶数日避け、年末の調整で28日になりました。その後、ユリウス・カエサルやアウグストゥス帝の都合で、他の月の日付が変更された際も、2月は28日のまま(うるう年で29日)にされたため、現在に至ります。

(国立天文台より)



教えてサクラちゃん ② チョコレートはどっから出来るの？

チョコレートはカカオ豆とよばれるものです。カカオ豆は、カカオという植物の実の中に入っている種のことです。

さて、チョコレートの作り方ですが、意外とかんたんです。この、カカオの種をいって、細かくくだいて熱を加えながらすりつぶしていきます。こうすると、カカオの種はとろとろにとけてしまいます。これに、カカオバターや砂糖やミルクをまぜて、型に入れ、冷やしなが乾燥させると板チョコが出来るのです。

(学研朝日キッズネットより)



募集!

憧れのヒーロー



約半世紀続いたスーパー戦隊シリーズがついに幕を下ろします。明塾のみなさんにとってのヒーローとその理由をぜひ教えて下さい。架空のキャラクターだけでなく、歴史上の人物やスポーツ選手、身近な人間でもかまいませんので、興味深いエピソードをお待ちしております。

【応募方法】文章、写真、イラスト等、すべて用紙は自由です。お名前を記入して、担当の先生にお渡し下さい。次号で紹介させていただきます。

【締め切り】二月十四日(土) 【特典】先着十名様に図書カード五百円分を進呈いたします。

※募集テーマ以外の作品も、随時受け付けています!